

令和 7 年度 国語科 現代の国語

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	1 年次
教科書	高等学校 精選現代の国語 (第一学習社)	副教材等	新訂国語図説六訂版(京都書房) 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級(桐原書店) 読み解くための現代文単語(文英堂)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・漢字小テスト ・定期考査 ・作文 ・授業ノート	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7	文章の構成 書き方の基礎レッスン 『本当の自分幻想』 話し方の工夫 待遇表現 『無彩の色』 論理的な表現	【知・技】文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解する。 【思・判・表】自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を理解する。 【主】文章作成の基礎技法を粘り強く習得しようとしている。 【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を理解する。 【主】積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 【知・技】敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 【思・判・表】敬語表現が選択される視点を理解する。 【主】積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 【知・技】主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】各段落であげられている事例と筆者の考えとの関係を確かめ、要旨を理解する。 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を理解する。 【主】積極的に主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
9	論理分析【対比】 『「間」の感覚』 論理分析【具体と抽象】 『日本語は世界をこのように捉える』	【知・技】語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思・判・表】対比による表現の効果を捉え、これを用いて論述する方法を理解する。 【主】対比の有用性について理解し、積極的に活用しようとしている。 【知・技】具体と抽象それぞれの特徴を理解する。 【思・判・表】文章の内容を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を理解する。 【主】論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・期末考査 ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
10	論理分析【事実と意見】 『「私作り」とプライバシー』 意見文を書く 論理分析【推論】 『AIは哲学できるか』	【知・技】主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【主】事実と意見を区別して粘り強く評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 【知・技】主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 【主】論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	
11 12	「日本の労働問題に関する資料を読み比べる」 情報の探索・選択 情報源の明示	【知・技】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 【思・判・表】図表等を読み、比較検討した上で、自身の考察に基づいて調査したことをまとめる。 【主】複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	
1 2 3	『フェアな競争』 スピーチで自分を伝える 『ロビンソン的人間と自然』 合意形成のための話し合いをする	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈し、自身の考えを的確に伝える。 【主】書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを適切な表現方法で伝えようとしている。 【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈し、自身の考えを的確に伝える。 【主】書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを適切な表現方法で伝えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・学年末考査 ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント)

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作りだす」ものだととらえ、積極的に参加してください。

令和7年度 国語科 言語文化

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	1 年次
教科書	高等学校 精選言語文化 (第一学習社)	副教材等	新訂国語図説六訂版(京都書房) 改訂三版完全マスター古典文法(第一学習社) 精選言語文化学習課題集(第一学習社) みるみる覚える古文単語300+30 (いいずな書店)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・定期考査 ・小テスト ・授業ノート(プリント)	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート(プリント)	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート(プリント)

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から、規準に従い総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	古文の学習 古文を読むために1	【知・技】主として歴史的仮名遣いや古今異義語、品詞、活用形について、文語のきまりを理解する。	・振り返りシート ・グループワーク
5	古文を読むために2 『絵仏師良秀』	【思・判・表】我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 【主】これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
	漢文の学習 漢文を読むために1 『漁夫之利』	【知・技】漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 【思・判・表】我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 【主】これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート(プリント) ・小テスト ・定期考査
6	『羅生門』 (芥川龍之介)	【知・技】語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思・判・表】下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 【主】登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
7			
9	古文を読むために3 『伊勢物語』 「芥川」	【知・技】古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 【思・判・表】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【主】初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
10	古文を読むために4・5 『土佐日記』 「門出」 (紀貫之)	【知・技】主として助動詞と助詞のはたらきについて、文語のきまりを理解する。 【思・判・表】わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 【主】文中に表された紀貫之の見方や考え方を踏まえて、内容を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
11	古文を読むために6 『枕草子』 「春はあけぼの」 「中納言参りたまひて」 (清少納言)	【知・技】敬語の文法事項と語句の量を増やし、敬語のきまりを習得する。 【思・判・表】自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 【主】作品に著された情景を想像し、言語化しようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
12			
1	漢文を読むために2・3 『狐偕虎威』	【知・技】故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思・判・表】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【主】故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
2	漢詩のきまり 唐詩の世界	【知・技】漢詩のきまりを理解する。 【思・判・表】表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【主】漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・期末考査 ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
3			

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけでなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作ridas」ものだととらえ、積極的に参加してください。

令和7年度 地理歴史科 地理総合

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	1 年次
教科書	高校生の地理総合(帝国書院)	副教材等	高校生の地理総合ノート

2 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につける。	【観点の到達目標】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・基礎的・基本的事項の確実な習得 ・資料の収集・読み取り・まとめを確実に行える力	【イチカシ学カスタンダード】 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察する力 ・考察・構想したことを、効果的に説明・議論する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・自らの学び方も学ぶ
【評価の方法】 ・期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート等	【評価の方法】 ・期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート等	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・グーグルスライド等での毎時間の取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 5月	地図や地理情報システムと現代世界	【知・技】 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思・判・表】 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

6月 7月	国際理解と国際協力～生活文化の多様性の基礎～	【知・技】世界の特色ある自然環境や気候帯等を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思・判・表】世界の特色ある自然環境や気候帯等を基に、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活文化の多様性と国際理解について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
9月 10月 11月	国際理解と国際協力～生活文化の多様性と国際理解～	【知・技】世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思・判・表】世界の人の生活文化について、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活文化の多様性と国際理解について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
11月 12月	地球的課題と国際協力	【知・技】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思・判・表】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、地球的課題と国際協力について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
1月 2月	持続可能な地域づくりと私たち～自然環境と防災～	【知・技】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思・判・表】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、自然環境と防災の視点から持続可能な地域づくりについて主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
2月 3月	持続可能な地域づくりと私たち～生活圏の調査と地域の展望～	【知・技】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。 【思・判・表】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活圏の調査と地域の展望について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「地理総合」では1学期に地図やGISなど、身の回りの地理的な事象の「見方」や地理的スキルを学びます。2学期では、1学期に学んだ地理的な見方や地理的スキルを活用し世界の大きな気候や生活文化や地政的状况を学びます。3学期は、1学期に学んだ見方やスキルを活用し、2学期で学んだ世界の大きな状況を背景に、実際に地域の状況を考え、調査し、地域づくりのための学習を行います。

これらの地理的な学習、そして探究は、人間にしかできないことであり、これからの君たちが社会に出て活躍する時にきつと有用であろうと考えます。1年間楽しく学習しましょう。

令和7年度 数学科 数学Ⅰ

単位数	3 単位	学科・学年・学級	スポーツ科学科 1 年次
数学Ⅰ 教科書	改訂版 最新 数学Ⅰ (数研出版)	副教材等	パラレルノート数学Ⅰ (数研出版)

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選ん選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・数学Ⅰにおける基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。	・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	・主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・定期考査	・定期考査	・課題などの提出物 ・授業内での発問に対する発言などの授業態度

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	1章 数と式	1節 数と式 1. 整式 2. 整式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫	整式の加法・減法・乗法、2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形できるようにする。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題
5		1節 数と式 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解 中間試験 7. 実数	数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をできるようにする。平方根を含む計算の基本的な考え方について理解を深める。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題 ・定期考査
6		1節 数と式 8. 根号を含む式の計算 2節 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用	1次不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めたり1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようにする。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題
7	第2章 集合と命題	1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明 期末試験	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用する。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題 ・定期考査
9	第3章 2次関数	1節 2次関数とグラフ 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. $Y = ax^2$ のグラフ 4. $Y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $Y = a(x-p)^2$ のグラフ 6. $Y = a(x-p)^2 + q$ のグラフ 7. $Y = ax^2 + bx + c$ のグラフ	2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描けるようにする。与えられた放物線のグラフからその2次関数を定められるようにする。2次関数のグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現できるようにする。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題

10		8. 2次関数の最大・最小 9. 2次関数の決定 中間試験	2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できるようにする。 2次方程式の解法に習熟させ、解の公式や実数解の個数について理解を深め、身近な事象の問題の解決に活用できるようにする。 2次関数のグラフを利用して2次関数や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式の解法を習熟させる。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題 ・定期考査
11		2節 2次方程式と2次不等式 10. 2次方程式 11. 2次関数のグラフとx軸の共有点 12. 2次不等式 13. 2次不等式の利用		
12	第4章 図形と計量	1節 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 期末試験	三角比の意味やその基本性質について理解し、三角比を用いた計量の有用性を認識し、活用する。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題
1		4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角 2節 正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量	正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて辺の長さや角の大きさを求められるようにする。三角比を平面図形や空間図形の考察に活用する。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題
2	第5章 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. 四分位範囲 5. データの相関 6. 相関係数	四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散及び標準偏差などの用語を知り、意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの傾向を的確にとらえ説明できるようにする。 散布図及び相関係数の意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できるようにする。	・授業態度 ・授業内発表 ・課題 ・定期考査
3		学年末試験		

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には、そのままにせず、すぐに自分で教科書を読んだり、人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると、それが原因で多くの内容がわからなくなってしまうです。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため、家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にとってください。
- ・来年度、数学Ⅱや数学Bを履修したい人は数学科の先生に必ず相談に来ること。

令和7年度 理科 科学と人間生活

1 科目について

自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などに見通しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 科目の目標

単位数	2 単位	学科・学年	スポーツ科学科・1 年次
教科書	科学と人間生活 (実教出版)	副教材等	アクセスノート科学と人間生活 (実教出版)

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。
【イチカシ学カスタンダード】 科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わって発展してきたか、意欲的に学習しようとする。
【評価の方法】 定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート	【評価の方法】 定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	1章 科学と技術の発展 1.科学と技術の始まり 2.海—とくに深海を科学の眼で見よう— 3.土—農業を通して考える— 2章 物質の科学 1 節 材料とその再利用 1.生活の中のさまざまな物質 2.金属 3.プラスチック 4.セラミック	【知・技】 海洋について進められている研究・開発の概要を理解し、日本における海洋研究の意義や役割を考察することができる。農業における微生物の役割や、化学肥料の開発における尿素的合成など、科学と技術の発展に際し観察・実験の果たした役割についてまとめることができる。 【思・判・表】 現在の農業や海洋開発などに関わる科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している。 【主】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わって発展してきたか、意欲的に学習しようとする。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

6 7	2章 物質の科学 2節 食品と衣料 1.衣食にかかわるさまざまな物質 2.食品にかかわる物質 特集 食品表示と健康 3.衣料にかかわる物質 3章 生命の科学 1節 ヒトの生命現象 特集 生物としてのヒト 1.私たちの生活環境と眼 2.ヒトの生命活動と健康の維持 3.ヒトの生命現象とDNA	【知・技】 食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であること理解し、天然高分子化合物と合成高分子化合物に分類することができる。 食品中の成分や衣料材料についてそれぞれの性質を把握し理解している。またその成分や構造の違いから生ずる性質の違いを理解し、それぞれの性質の良さを見極めて日常生活に適切に利用できる。 DNA における塩基の相補性を理解するとともに、DNA の塩基配列によってつくられるたんぱく質のアミノ酸配列が決まることを理解している。 【思・判・表】 食品中の成分が生命体においてどのような役割を果たしているか学習を通して総合的に判断し、表現することができる。天然の繊維と合成繊維の性質の違いによる用途の違いなどを的確に考察することができる。 【主】 身近な食品中の成分や、衣料材料の性質や用途を追求し、生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維がどのように利用されているか関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
9 10	3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 1.いろいろな微生物 特集 いろいろな微生物のなかま 2.微生物の利用 3.生態系での微生物 4章 光や熱の科学 1節 熱の性質とその利用 1.熱 2.熱の発生 3.エネルギーの変換と利用	【知・技】 様々な微生物の存在や働き、生態系での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。熱と温度とを区別でき、熱の性質をこれに関わる現象および歴史から理解し、日常生活に適切に利用できる。 【思・判・表】 身近な微生物、水の浄化に関わる微生物の観察や発酵における微生物の働きについての実験などを通し、観察・実験技能を身につけるとともに、結果や考察を的確に表現することができる。発熱・吸熱反応や力学的エネルギーの変換などに関する観察・実験の方法・技能を習得し、結果や考察を的確に表現できる。 【主】 微生物の存在や生態系における役割や微生物と人間生活の関わりについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。 自然界に見られる熱に関する現象やエネルギーに関する科学技術に関心を持ち、意欲的に調べようとする。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
11 12	4章 光や熱の科学 2節 光の性質とその利用 1.光 2.電磁波の利用 5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球 1.太陽系の天体と人間生活 2.潮汐と人間生活 特集 潮汐と人間や生物とのかわり 3.太陽の放射エネルギー	【知・技】 電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。 地球を含む太陽系の天体の広がりや構造を知り、地球の特質を理解できる。 【思・判・表】 身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。 地球が生命の存在できる環境であることを、太陽系の広がりや構造、太陽の放射エネルギーなどから総合的に判断して考察し、表現することができる。 【主】 電磁波に関わる科学技術が生活とどのような関係を持つかに関心を持ち、科学的な見方・考え方を身につけようとする。 太陽や月などの身近な天体と太陽系における地球について関心を持ち、意欲的に調べようとする。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
1 2 3	5章 宇宙や地球の科学 2節 身近な自然景観と自然災害 1.身近な景観のなりたち 2.地球内部のエネルギー 3.自然の恵みと自然災害 6章 これからの科学と人間生活	【知・技】 自然景観の成因や日本列島の成り立ちとその変化について理解し、自然景観の恩恵と自然災害のリスクを理解できる。 【思・判・表】 身近な自然景観の成因、日本列島の成り立ちを科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。 自然災害の起きる原因や条件を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。 【主】 自然景観の成因や自然災害の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身につけようとする。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

理科は知れば知るほど楽しくなります。理科が好きではない人も、自分が何十兆個もの細胞からできていることや、太陽系を含む銀河系には1000億個以上の恒星があることを知るだけでも、少なからず感激すると思います。地球は人工的なサポートを必要としないで多くの生命が暮らす奇跡のメカニズムを持ち、それらは気の遠くなるような時間をかけて完成したことにも感動があると思います。日本周辺では震度1以上の地震が年間1000~2000回起こっていることなど、自然というものに科学という知恵を加えて、地球は今後どうなるのかを想像しましょう。

令和 7 年度 保健体育 保健

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。	【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなどにより主体的に取り組むことができる。
【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知も含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。	【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	1, 私たちの健康の姿 2, 健康のとらえ方	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
5	3, 意思決定と行動選択 4, 健康に関する環境作り	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
6	5, 生活習慣病とその予防 6, 食事と健康	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
7	7, 運動と健康		
9	8, 休養・睡眠と健康 9, 喫煙と健康	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
10	10, 飲酒と健康 11, 薬物乱用と健康	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
11	12, 現代の感染症 13, 感染症の予防	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
12	14, 性感染症・エイズとその予防		
1	15, 欲求と適応機制 16, 心身の相関とストレス 17, ストレスへの対処	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
2	18, こころの健康と自己実現 19, 交通事故の現状と要因	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
3	20, 交通社会における運転者の責任と資質 21, 安全な交通社会づくり	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく, 積極的に 自分自身の生活を振り返り, 健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには, 学習した内容をもとに, 自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおけないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

授業チャイムと同時に始めますので, 休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき, チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は, 友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ I

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツ I」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 5月	陸上競技 短距離走・リレー 跳躍(走り幅跳び)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
6月 から 7月	水泳 (クロール)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
8月 から 9月	体操競技 器械運動(マット)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
10月 から 3月	陸上競技 長距離走	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 7 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	Ⅰ単位	学科・学年	Ⅰ年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、泳法を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 3 月	単元名 バスケット	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本練習 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】【主】 ・バスケットボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパスやドリブルの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・レイアップシュートを左右正しく出来ることを身につけ、セットシュートを正しいフォームでおこなう知識を身につけておこなうようにする。【思・判・表】 学習内容(2学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・1対1に必要なボールのもらい方を理解して、1対1の技能を身につけること。【知・技】 ・アウトナンバーの攻め方を身につけること。【知・技】 ・1対1から5対5までをオールコートで簡易ゲームをおこない、フロアバランスやスペース、シュートセレクトを考えながら、技能を身につけること。【思・判・表】 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・チームの作戦を立て、マンツーマンディフェンスとゾーンディフェンスのやり方を理解する。【知・技】 ・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】【主】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察
4 月 から 3 月	テニス	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本動作 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した用具の使い方を身につけること。 (ストローク)フォアハンドストローク、バックハンドストロークともに相手側のコートのねらった場所に打ち返すこと。 (サービス)ボールをねらった場所に打つこと。【知・技】【思・判・表】【主】 学習内容(2学期) ・応用動作 評価の観点 ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・ボールに変化をつけて、ねらった場所に打つこと(サービス、ストローク)。【知・技】 ・ボールを相手側のコートの開いた場所に緩急や高低をつけて打ち返すこと。【思・判・表】【知・技】 ・仲間と連動してネット付近でボールを打ち返したりすること。【主】【思・判・表】 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・チームの作戦に応じた隊形から、拾ったりつないだり打ち返したりすること。【思・判・表】 ・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育 スポーツⅢ

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成 することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な 行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、武道の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	柔道	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	剣道	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4月 から 3月	ダンス	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した、主体的・合理的・計画的の実践を通して、自己の課題を解決させることを目指します。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツⅣ

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	スポーツ科学科Ⅰ年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスは、イメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり、伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて、仲間やパートナーと踊ったりすることを通して、身体を通して自由に自己を表現するとともに、心を解放して誰とでも楽しく交流するといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。	【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教えるなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。	【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようになること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 9 月	創作ダンス	【知・技】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 ・作品の展開や公正を工夫して発表する。 【思・判・表】 ・発表された作品に対して、適切な評価を行う。 【主】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。	行動観察 ワークシート分 析 スキルテスト
10 月 か ら 12 月	現代的なリズムのダンス	・それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。 【知・技】 ・ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。 【思・判・表】 ・現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。 【主】	行動観察 ワークシート分 析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツⅤ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	スポーツ科学科Ⅰ年
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅤ」で取り上げる野外の運動は、主として校外学習として自然環境の中で行われる体験的活動である。野外の運動は、日常生活の場から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、冒険的な活動をしたり、競技を行ったりする特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然体験型野外活動においては、その特性に応じた活動ができる。競技型野外活動においては、その特性に応じた技能を高める。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できる。	【観点の到達目標】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解する。
【イチカシ学カスタンダード】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅤ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を組み立て、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標修正や練習計画の組み立てなどができている。	【イチカシ学カスタンダード】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
Ⅰ学期	野外活動 【スキー】 ○事前学習 ・スキー概論 ①スキーの歴史 ②スキーの体系	【知・技】 ・スキー実習に向けての事前学習に取り組む。 スキーの歴史を理解する。 スキーの体系について学び、様々な分類に分かれていることを理解する。 スキーの用具について学び、時代に即した用具があることを理解する。 スキー技術の用語を理解する。 【主】【思・判・表】 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。	行動観察 ワークシート分析

	野外活動 【スキー】 ○事前学習 ・スキー概論 ①スキーの用具 ②スキーの技術	【知・技】 ・スキー実習に向けての事前学習に取り組む。 スキーの歴史を理解する。 スキーの体系について学び、様々な分類に分かれていることを理解する。 スキーの用具について学び、時代に即した用具があることを理解する。 スキー技術の用語を理解する。 【主】【思・判・表】 ・実習の意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度を育成する。	ワークシート分析 行動観察
3 学 期	野外活動 【スキー】 【スキー実習】 基本的学習 板の運び方 板をつけての 体操 実習① （安全面の知識・理解） 板慣れ、歩行、転び方、起き上 がり方、リフトの乗り降りのし かつた 実習② （基本的な技能の習得） 速さの制御、止まり方 実習③ （基本的な技能の習得） 速さの制御、曲がり方	【知・技】【主】 ・板の危険性について理解し、安全に扱うための方法を身につける。 ・板を装着することで、動きが制限されることを理解する。 ・スキーは、自然環境の中、特に雪山での活動になるため、安全に活動するために必要な知識と技術を身につける。 【思・判・表】 また、山の天候は急変することが多く、その日一日のなかでも大きく変化することがあります。様々な状況に対応できる技術や判断力を養う。	ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

（アドバイス）

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツVI

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科1年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツVI」で取り上げる体づくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 体づくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のかた、課題解決の方法などを理解している。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくりの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動について、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のかた、課題解決の方法などを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツVI」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 12 月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体づくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ概論 I

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	スポーツ科学科 1 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

1. 体育・スポーツに関する知識を学ぶ。
2. 運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。
3. コンピュータを使って体育・スポーツに関する情報を処理できるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴 ① スポーツの歴史的発展と変化 ② スポーツの技術、戦術、ルールの変化 ③ スポーツの経済的波及効果とスポーツ産業	【知・技】体育・スポーツに関する正しい知識を身につけている。スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて変化してきていることを学ぶ。 【思・判・表】学習や資料・体験などや他の人の意見を聞いて課題設定や解決方法を考え、判断している。スポーツの技術や戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを学ぶ。 【主】体育・スポーツに関して関心を持っている。現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを学ぶ。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの効果的な学習の仕方 ① スポーツにおける技術と技能 ② スポーツの技能の上達過程 ③ スポーツの技能と体力の関係 ④ スポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	【知・技】体育・スポーツに関する正しい知識を身につけている。スポーツの技能の上達過程には段階があり、その段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法があることを学ぶ。スポーツの技能と体力は相互に関係していることを学ぶ。 【思・判・表】学習や資料・体験などや他の人の意見を聞いて課題設定や解決方法を考え、判断している。スポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになることを学ぶ。 【主】体育・スポーツに関して関心を持っている。スポーツをおこなう際には、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを学ぶ。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 豊かなスポーツライフの設計 ① 各ライフステージにおける多様な楽しみ方 ② ライフステージに応じたスポーツとのかかわり方	【知・技】・スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があることを学ぶ。 【思・判・表】・生涯にわたってスポーツを継続するには、自己に適したスポーツの機会を持つこと、施設などを活用して活動の場を持つことが必要であることを学ぶ。 【主】 体育・スポーツに関して関心を持っている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に 自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおく れないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ総合演習

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点	【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次
教科書	高校生の音楽Ⅰ 教育芸術社	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解している。(知) ・音楽を形作っている要素及び音楽用語や記号を理解している。(知) ・それぞれの言葉、楽器、音素材の特徴を理解し、それらを表現するための発音、奏法、身体の使い方などの技法を身に付けている。(技)	・音楽を形づくっている要素などを知覚し、それらの働きを感じながら関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えている。 ・曲や演奏について根拠をもって批評している。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・他者の音楽表現を捉え、調和を意識している。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・音楽用語 ・音楽記号 ・歌唱の技能 ・演奏の技能 ・読譜及び記譜の技能 など	・プレゼンテーション ・ディスカッション ・グループワーク など	・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽性理解 など
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・各種技能テスト ・聴音テスト ・学習プリント	・各種技能テスト ・学習プリント ・プレゼン資料	・授業内での姿勢、発言 ・学習課題 ・プリント提出

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4 5 6 7	ガイダンス 音楽って何だろう (頭の準備運動)	音楽史	教材 「音楽って何だろう」 ・ 音楽を考える ・ 音楽の起源を探る ・ 音楽の目的と価値を考える	・ 学習プリント
	校歌を学ぶ 世界を変えていく力	歌唱表現	教材 「校歌」 ・ 校歌の歌詞を理解する 教材「We are the World」 ・ 曲の文化的・歴史的背景を探る	・ 学習プリント ・ 歌唱実技テスト
	音楽の役割	器楽演奏(ハンドベル)	教材「愛の讃歌」 ・ 音楽の役割を知る ・ ハンドベルの奏法、演奏	・ 学習プリント ・ 器楽実技テスト
	イメージをもって 音楽をつくる	創作 (効果音)	教材「詩をもとにして音楽 をつくろう」 ・ 音の要素と音楽の要素を知る ・ 音楽と感情の関わりを知る ・ イメージから音楽を構想する ・ 音が与える印象を考える ・ 意図をもって表現する	・ 学習プリント ・ 発表 (テスト扱い)
	音名と読譜	楽典	教材 学習プリント ・ 読譜スキルの習得	・ 読譜テスト
	音楽と社会問題	鑑賞	教材 「ウェストサイドストーリー」	
9 10 11 12	イタリア語歌曲	歌唱	教材「カロミオベン」 ・ イタリア歌曲の特徴を捉える	・ 歌唱実技テスト
	世界の歌	器楽演奏(ハンドベル)	教材「オーシャンゼリゼ」 ・ 正確なリズムを身に付ける	・ 器楽実技テスト
	音楽の効果	鑑賞・創作	教材 学習プリント ・ 音楽を形作っている要素を 理解し、働きを考える ・ 表現の意図を捉え、 情景にあった楽曲を 見つけ出す。 ・ 根拠をもって説明する	・ 学習プリント ・ プレゼンテーション

	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
	音楽の力	鑑賞	教材「交響曲第9番」 ・曲の構成を理解する ・作曲者の思いを感じ取る ・現代における価値を知る	・学習プリント
	5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・5線記譜法の習得 ・聴音の習得	・3学期テストにて
1 2 3	日本の歌	歌唱表現	教材「荒城の月」 ・日本語の美しい発音や歌い方を知る ・日本語の表現 ・楽曲にあった歌唱方法 ・情景理解、歴史的背景理解	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	リズムアンサンブル	リズム表現 (ボディーパーカッション)	教材「クラッピングカルテット第1番」 ・曲の仕組みを理解する ・特徴に合わせた表現を工夫する ・意図をもって表現する	・発表 (テスト扱い)
	5線記譜法	楽典	聴音課題	・聴音実技テスト
	物語と音楽の関わり	鑑賞	教材「魔法使いの弟子」 ・詩と音楽要素の関わり ・情景理解	・学習プリント

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1年間を通して、音楽の価値を中心について考えていきたいと思います。
得意不得意があると思いますが、実技テストが多い教科なので、とにかく積極的に取り組むことが第一です。また、生活の中の音楽にも関心を向けながら、授業に取り組んでください。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	1 学年 全組
教科書	書道 I (東京書籍)	副教材等	ペン習字の基礎 (教育図書)

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書写能力を向上させ、書の伝統に基づいた効果的な表現のための基礎的な技能を身に付ける。 (よく見て正確に表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・意図に基づいた表現について構想し工夫した作品作りを習得する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (自分の思いを表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ ワークシート ・ 取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	書写から書道へ 漢字仮名交じりの書	・書写の確認、書道の学習 ・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・調和よく書いてみよう	・書写と書道の違いを理解する。 ・用具・用材の種類や性能を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。	ワークシート ワークシート 作品 観察
5	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	ワークシート
6		・楷書 ①九成宮醴泉銘 ②孔子廟堂碑 ③雁塔聖教序 ④自書告身 *唐の四大家 ⑤牛橛造像記	・楷書の用筆・運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。	ワークシート 作品 観察
7				
9	漢字の書	・行書 ①蘭亭序 ②争坐位文稿 ③風信帖	・行書の用筆・運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫する。	ワークシート ワークシート 作品 観察
10				
11		・篆書 ①泰山刻石 ・篆刻	・漢字の書体変遷について理解する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
12		創作	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む。	作品 観察

1	仮名の書	・ 仮名の書の成立 ・ 平仮名 ・ 変体仮名	・ 仮名の成立と変遷について理解する。 ・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。	ワークシート 作品
2		・ 古筆の鑑賞と臨書 ①蓬萊切 ②高野切第三種 ③関戸本古今和歌集	・ 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・ 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
3	漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫	・ 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現活動に取り組む。 ・ 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	作品 観察

担当者からのメッセージ (学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解し、書写能力の向上を図りましょう。
- ・ 書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けましょう。
- ・ 書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
- ・ 主体的に書の幅広い活動に取り組みましょう。
- ・ 書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみましょう。
- ・ 書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。
- ・ 作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

令和7年度 芸術科 美術 I

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	1 年次
教科書	光村図書出版 美術 I	副教材等	

2 科目の目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	【観点の到達目標】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・対象や事象を捉える造形的な視点の習得 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す力	【イチカシ学カスタンダード】 ・造形的な見方・考え方を活用し、主題を生成したり、創造的に発想し構想を練ったりする力 ・価値意識をもって、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・主体的に多様な価値観と触れ合う
【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・行動観察

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション 美術はなぜ学ぶのか	【知・技】 社会における美術の役割を理解している。 【思・判・表】 社会における美術の役割を理解したうえで、授業でどのように取り組んでいくかや、美術を学ぶ意義を考え、自分の言葉で表すことができている。 【主】 美術を学ぶ意義を、他者の意見を聞きながら多角的かつ主体的に考えようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
5	混色演習 絵の具について 立体表現	【知・技】 混色をすることで、色や表現の幅が広がることを理解している。絵の具の特徴や使い方を理解し、様々な表現方法やモダンテクニック等を利用する技術を身につけている。 【思・判・表】 自分の作りたい色や、主題に応じた表現方法はどのようにすればできるかを、考	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート

		察しながら表現している。 【主】混色や絵の具の表現を主体的に広げようとしている。	・行動観察
6	絵画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かして表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
7	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
9	立体表現	【知・技】形や色、素材などが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
10	立体表現 鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
11	空間デザイン	【知・技】造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 【思・判・表】目的や条件、美しさなどを考え主題を生成し、デザインの機能や効果について考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自分の生活や環境を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
12	プレゼン会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者のねらいや目的と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者のねらいについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
1	ゲルニカの鑑賞	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
2	絵画鑑賞	【知・技】様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
3	絵画鑑賞	【知・技】様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・指示をよく聞き、マナーを守り、安全な活動を心掛けてください。皆が気持ちよく授業に参加できるようにしましょう。
- ・課題は授業時間内での完成を目指し、締め切りに間に合うようにしましょう。作業が遅れている者は補講も実施しますが、怠惰が理由の場合の補講の参加は認めません。欠席が多くなってしまった場合は自分から相談をすること。
- ・提出物(ワークシート、作品等)は、締め切りを守り、確実に提出してください。未完成のものや期限を守らないものは大幅に減点します。
- ・美術は答えがたくさんある教科です。自分の答えを持つことはもちろん大切ですが、他者の答えも大切にしてください。様々な価値観を認められる心を育みましょう。

令和7年度 芸術 工芸 I シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次
教科書	工芸 I 日本文教出版	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	染色（手拭い）	手描き染めによる手拭い ・細密描写	・モチーフを選び細密描写する。	・描写は丁寧にされているか、角度を変えて沢山描けたか。
5		パターンをつくる ・連続模様にする ・大きさや色を変え、デザインする	自分のモチーフによって、パターン化したり、連続模様にした り、大きさや色を変えてデザインする。	・デザイン化、パターン化は適切に行われたか。 全体のバランスは考えられたか。
6		・転写 ・線描	・パネルに晒しぬのをマスキングテープで貼る。 ・デザイン画をケント紙に簡略化して写し、晒し布の間に 入れ、布ペン（極細）で描いていく。	・何故簡略化するか、また、細部をどのように描いてゆくか理解できたか。
7		・彩色	・全て線描したら、布ペンで彩色していく。 ・混色、ぼかしなども、適切に指導しながら、難易度をあげ、友禪染をイメージさせながら染めていく。	彩色はきれいにできたか。 ・配色は適切に考えられたか。 ・ぼかし、混色はきれいにできたか。
9	金工	・真鍮によるペーパーウェイト	・参考作品を提示し、ペーパーウェイトの用途を考え、デザインする。	・金属の性質を理解し作る事を考えてデザインしているか。
10			・糸鋸でデザインに沿って切っていく。 ・やすりで形を整える。	糸ノコの使い方を習得したか。 ・棒やすりの使い方はできているか。やすりの形を理解し適切に使えたか。
11			・耐水ペーパーで＃400～＃2000、まで番手を上げ、磨き上げていく。	・目の粗さ、細かさなど理解し適切に使えたか

12			・ビカールを布につけ磨く。	ビカールを布につけて適切にみがけたか。
1	革	革のパスケース	デザインを決める。 ・刻印を打つ。 ・革と紐を染める	デザインは適切か。 ・刻印の打ち方 ・革の染め方
2			・ポンチで穴あけ。 ・革紐で編んでゆく	・穴の開け方。 ・縫い方、糸の始末。
3	鑑賞		・仕上がったお互いの作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞する。	

担当者からのメッセージ(学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

工芸Ⅰの授業では様々な素材に出会い、新しい道具の使い方を学び、皆さんの生活を豊かにする作品をつくります。
是非、積極的に授業に参加して下さい。

令和6年度 外国語科 英語コミュニケーションⅠ

Ⅰ 科目について

単位数	4 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書	Landmark Fit Ⅰ English Communication Ⅰ (啓林館)	副教材等	Landmark Fit Ⅰ Workbook (啓林館) Pocket Speaking (啓林館) ブレッツ・イングリッシュ (旺文社) チャンクで英会話ベーシック (三省堂)

2 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くことの5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について話された文等を聞いたり、書かれた文等を読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能、論理性に注意して話して伝える技能、書いて伝える技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えていたり、書き手の意図や概要、要点を捉えていたりする。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、論理性に注意して書いて伝える。	【観点の到達目標】 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしていたり、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読むようにしたりしている。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしていたり、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしていたりしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい語彙や文法を身に付け、教科書本文の基本的な英文の音読や読解ができるようになる。 ・本文についての英文を聞いて理解できるようにになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・既習単語や表現を使い、情報や気持ちを伝えることができる。 ・エッセイで30語程度の英文が書けるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・言語学習を通して、異文化を理解できるようになる。 ・ペアワークやグループワークを通して、主体的に学ぶ姿勢を身につける。
【評価の方法】 ・定期考査 ・単語テスト ・音読テスト ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・エッセイライティング ・ペアワークへの取り組み	【評価の方法】 ・ファイル提出 ・ワーク提出 ・自己評価・リフレクション ・ペアワークへの取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	【知・技】これからの高校生活で関心があることについての話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】高校生活における目標設定について書かれている文章を読み, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】高校生活で関心がある学校行事について, 自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
5	Lesson 2 Curry Travels around the World	【知・技】好きなカレーについての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】カレーの歴史と現在の様子についての文章を読み, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】食べたことがあるカレー料理について, 自分の経験や好みについて, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査
	SDGs01	What is SDGs?	エッセイライティング
6	Lesson 3 School Uniforms	【知・技】学校の制服についての会話を聞いてのスピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】学校の制服についての文章を読んで, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が通っている学校の制服について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
7	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima	【知・技】日本の世界遺産についてのスピーチを聞いて必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】屋久島のエコツアーについての文章を読んで, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が訪れてみたい世界遺産について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査
	SDGs02	SDGs Goals to Achieve	エッセイライティング
9	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	【知・技】ファシリティドッグ導入に賛成か反対かについての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】ファシリティドッグについての文章を読んで, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】飼っているペットや好きな動物について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
10	Lesson 6 Communication without	【知・技】ジェスチャーが持つ意味について話されている会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】世界の非言語コミュニケーションについて書かれている文章から必要な情報を, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が話す時によく使用しているジェスチャーとその利点について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査

	SDGs03	What You Can Do with SDGs	エッセイライティング
11	Lesson 7 Dear World: Bana's War	【知・技】インターネットの活用方法について話している会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】バナの平和への思いとソーシャルメディアを利用した平和活動について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】インターネットの良い点、悪い点についての情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
12	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	【知・技】将来就きたい職業についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】社会起業家について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】将来自分が就く職業を選ぶ際に重要なことについて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み 定期考査
1	Optional Lesson 1 Space Elevator	【知・技】宇宙エレベーターで宇宙に行けたらしてみたいことについて会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】宇宙エレベーターについての文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】宇宙について自分の関心がある事柄を情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
2	Optional Lesson 2 Friendship over Time	【知・技】友情についてのエピソードを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】日本とトルコの時を超えた友情についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】海外を訪れた経験や訪れてみたい外国について情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
3	Reading	【知・技】アメリカで出会ったアユコとトニーの物語を読んで、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉える。 【主】物語から読み取ったことを基に、最後のシーンでアユコがどのような思いを抱いていたか、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

普段の授業から「聞く」「話す」「読む」「書く」の4分野を総合的に評価していきます。授業への主体的な態度も評価の対象になりますので、失敗を恐れずに積極的に発言をしてください。授業中はもちろんのこと、授業外でも積極的に英語を使ってコミュニケーションをとっていきましょう。また定期単語テストも行います。語彙を増やすとコミュニケーションも取りやすくなります。学年末に成績優秀者に表彰もあります。毎回合格目指して頑張ってください。

ICT活用も充実した授業を行っていきますので、家庭学習の際も積極的に活用させていきましょう。

令和 7 年度 情報科 情報 I

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	全学科・1 年次
教科書	情報 I step Forward! (東京書籍)	副教材等	ニューステップアップ情報 I

2 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うことを目標とする

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解している。	【観点の到達目標】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	【観点の到達目標】 情報社会との関わりについて考えながら, 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し, 自ら評価し改善しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・情報モラル ・法と権利 ・デジタル表現 ・情報デザイン ・ネットワーク ・アルゴリズム ・プログラミング	【イチカシ学カスタンダード】 ・問題解決 ・ネットコミュニケーション ・情報デザイン ・アルゴリズム ・プログラミング	【イチカシ学カスタンダード】 ・情報モラル ・ネットコミュニケーション ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・考查結果 ・提出課題	【評価の方法】 ・考查結果 ・提出課題	【評価の方法】 ・考查結果 ・授業における取組 ・課題等の提出状況

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名	【知・技】情報やメディアの特性について知り、理解する。	・提出物
5	1 章 情報社会	【思・判・表】問題を発見・解決するための共通する手順や方法を学習する。問題を解決するために情報技術や様々な発想法を理解する。 【主】Word、PowerPoint を使った実技課題への取り組み	・授業の取組 ・定期考査
6	2 章 情報デザイン	【知・技】メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。	・提出物
7		【思・判・表】情報を分かりやすく伝えるための情報デザインを理解する。 【主】ユニバーサルデザインについて学び、主体的に考える。ピクトグラム作成。	・授業の取組 ・定期考査

9 10	2章 情報デザイン	【知・技】アナログデータとデジタルデータの違いを理解する。 【思・判・表】コンピュータ内部での数値・文字・記号などの表現の仕組みを理解する。デジタルデータのプラス面とマイナス面について、両面から理解する 【主】Excelを使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
11 12	4章 ネットワークの活用	【知・技】情報通信ネットワークの理解とその利用について考える。 【思・判・表】情報化の進化に伴う暮らしや社会の変化について考える。 【主】Excelを使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
1 2 3	3章 プログラミング	【知・技】コンピュータの基本構成と五大装置について理解する。 【思・判・表】基本論理回路について学び、仕組みを理解する。問題解決の手順を考え、表現する。 【主】アルゴリズムやプログラミングに関する課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・「情報」は、これからの情報社会を生き抜いていくために必要不可欠であり、また、自ら学ぶ力を身につけるためにとても大切な教科です。他のいろいろな教科を学習した上で学んだ知識を統合し、発展活用させる方法を身につけましょう。前向きな態度で授業に臨んでください。
- ・教科書の内容を覚えることも大切ですが、知識のみに偏らず実習を通じて問題の発見や解決能力、情報活用能力を高めていき、実社会に役立てられるような実践力を身につけることが大切です。
- ・PC教室での授業が多くなります。移動がありますが、授業はチャイムと同時に開始しますので、教科書等を準備し、着席を完了してください。
- ・授業中は説明をしっかりと聞いてください。特にコンピュータなどの情報機器の操作については、手順通りに行わないと結果として他の人に迷惑をかけてしまう場合があるので十分注意してください。
- ・提出物は確実に提出してください。